

かがやく

— あなたも、わたしも —

特集

「我孫子市男女共同参画プラン」

～ (第2次) 策定 ～



連載 かがやく個性たち

我孫子市男女共同参画プラン (第2次)が策定されました

平成11年に男女共同参画社会基本法が制定されて、今年が10周年にあたります。

我孫子市では、今年3月に平成21年度から平成30年度を期間とする
我孫子市男女共同参画プラン(第2次)を策定しました。

そもそも男女共同参画プランって、なんですか?
男女共同参画条例というのがあったはずよね。

男女共同参画プランは、我孫子市が目指している「一人ひとりが尊重される男女共同参画社会」を実現するための具体的指針となるものです。
「我孫子市男女共同参画条例」は、平成18年に制定されました。この条例は、我孫子市の男女共同参画の基本的な考え方を定めたもので、市民の権利や責務と市の責務や事業者の責務を明らかにして、男女共同参画に関する施策を総合的、計画的に推進するためのものです。

ふーん。でも1次プランがあるのに、どうして第2次プランが必要なのですか?

1次プランが平成21年3月で終了したからです。この10年間で、我孫子市の男女共同参画社会づくりはかなり進展しました。市の審議会への女性の参画は進み、家族経営協定を結んだ農家の方も増えました。また、小中学校では、子どものころから人権を大切にする意識を育てるために、男女平等教育を行ってきました。
でも、「男だから」「女だから」という理由で、自分が望まない役割を無理にさせられたり、「女のくせに」「男のくせに」という理由で、本人がやりたいことができないようなことのない社会にするためには、まだまだ努力が必要です。それで、少子高齢化をはじめとした社会状況の変化にあわせて、第2次プランを策定しました。



市民カレッジ男塾 男の料理教室



長寿大学 絵手紙教室



あびこ農産物直売所出荷組合加工部会
(市民活動フェア in あびこ 2009)

第2次プランには、どんな特徴がありますか?

もちろん、これまでやってきた施策は、さらに進めていきます。それに、阪神・淡路大震災のときの教訓を受けて、防災に女性の視点を取り入れました。それを入れたことが新しい特徴のひとつです。そして社会の変化が早いので、5年ごとの実施計画は別に立てることにしました。

このプランは、男性には関係なさそうですね。

男女共同参画は、女性だけでなく男性にとっても大切な問題です。恋愛や夫婦関係、親子関係、働き方、健康問題、子育てや介護など、私たちの生活すべてに関連があります。だからこそ、プランでは、「あらゆる分野に男女が参画する制度づくり」「男女の人権の尊重」「男女ともに仕事と生活の調和の推進」「推進体制の充実」の4つを目標に掲げています。これからは、男性も女性も、ともに責任を分かち合う社会を目指すので、男性にもおおいに関係があります。

第2次プランの成り立ちはわかったけど、女性はもう十分強いんじゃないですか?

テレビや新聞、雑誌などでの女性の活躍や、家庭の中では、女性が強いと見えるかもしれませんが、内閣府の「男女共同参画に関する世論調査」(平成19年8月)によれば、男女の地位について、4人に3人が「男性のほうが優遇されている」と考えています。就職し、社会に出て初めて、壁を感じる女性はまだまだ多いのです。

プランでは、女性の社会進出ばかり勧めているみたいだけど、専業主婦じゃダメですか?

そんなことはありません。いろいろな生き方を選ぶ自由は誰でももっています。社会進出だけを勧めて、専業主婦を認めないということはありません。自分のやりたいことはそれぞれです。でも、日本の社会はまだ十分に女性の力を生かしているとはいえないのです。

日本が女性の力を生かしていないって、どういうことですか?

「国連開発計画」にあるデータ(平成20年12月)によると、日本は、平均寿命、教育水準(成人識字率・就学率)、国民所得など基本的な人間の能力がどこまで伸びたかを示す「人間開発指数」(注1)では世界179か国中8番目です。ところが、政治や経済活動に女性が参加して、意思の決定に参加しているかを示す「ジェンダー・エンパワーメント指数」(注2)では、108か国中58位と、先進国では遅れているのです。そのため、日本はまだ推進が必要です。「女性が初めて」とか、「女性が何人」とか言われなくなったときに、男女共同参画社会が達成されたといえるのかもしれませんが。

このプランや条例は、どこに行ったら見ることができますか?

図書館、市のホームページ、行政情報資料室(市役所本庁舎1階)、男女共同参画室でご覧になれます。

(注1) HDI: 人間開発指数
(Human Development Index)

「長寿を全うできる健康的な生活」「教育」及び「人間らしい生活」という人間開発の3つの側面を簡略化した指数です。
具体的には平均寿命、教育水準(成人識字率及び就学率)、調整済み一人当たり国民所得を用いて算出しています。

※内閣府男女共同参画局「ひとりひとりが幸せな社会のために」より

(注2) GEM: ジェンダー・エンパワーメント指数
(Gender Empowerment Measure)

女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測るものです。HDIが人間開発の達成度に焦点を当てているのに対して、GEMは能力を活用する機会に焦点を当てています。
具体的には、国会議員に占める女性割合、専門職・技術職に占める女性割合、管理職に占める女性割合及び男女の推定所得を用いて算出しています。

育児期にある夫の一日あたりの育児、家事時間の国際比較

我が国の男性の家事・育児に費やす時間は、世界的にみても最低の水準です。

国(年)	育児(時間)	その他の無償労働(家事等)(時間)
日本(2006)	0.5	0.4
アメリカ(1995)	0.6	2.0
イギリス(1999)	1.5	1.6
ドイツ(1992)	1.0	2.5
スウェーデン(1991)	1.2	2.5
カナダ(1998)	1.5	2.4
イタリア(1989)	0.6	1.2
オーストラリア(1989)	0.9	2.0

5歳未満児(日本は6歳未満児)のいる夫婦の夫の育児、家事時間(1日あたり)

のびのび親子学級 お父さんも一緒に遊ぼう

※内閣府男女共同参画局「ひとりひとりが幸せな社会のために」より

男女共同参画社会を実現するために

目標 I

あらゆる分野に
男女が参画する
制度をつくる

1. 政策・方針決定過程
への女性の参画

(1) 政策・方針決定過程への
女性の参画を図る

(2) 自らの能力を高める

2. 男女平等の視点での
意識改革と社会制度
の見直し

(3) 社会制度や慣習を見直し
男女平等意識を形成する

目標 II

人権が尊重される
社会をつくる

3. 男女の人権が尊重
される社会づくり

(4) 男女間でのあらゆる
暴力をなくす

(5) 男女の人権を尊重する

4. 生涯を通じた男女の
健康支援

(6) 健康で豊かな生活を
営むための支援をする

5. 男女平等教育・学習
の推進

(7) 男女平等を推進する
教育の充実を図る

(8) 男女平等を推進する
生涯学習の充実を図る

6. 国際的視野に立った
男女平等の推進

(9) 国際的視野に立った
男女共同参画を推進する

目標 III

仕事と生活の
調和ができる
環境づくりを行う

7. 自立した生き方が
できる環境の整備

(10) 男女の家庭生活、地域生活、
職場生活等の調和を図る

(11) ひとり親家庭等を支援する

8. 職場における
男女平等の確立

(12) 職場における男女平等を
確立する

目標 IV

男女共同参画社会
づくりの推進体制を
充実する

9. 推進体制の充実

(13) 推進体制を充実する

今回は、「自分たちの街は自分たちで守る」をモットーとする消防団で、分団員として4年、地域の安全・安心のために活躍している寺田恵美さん、鈴木久美子さん、岡田綾子さんに登場していただきました。



寺田恵美さん 鈴木久美子さん 岡田綾子さん

☆消防団に入団した動機は？

鈴木 ずっと住んでいた街に貢献できることがあればと思い入団しました。

寺田 住んでいる地域に貢献できればと思い入団しました。

岡田 女性消防団を立ち上げるので入りませんかと勧められたことがきっかけです。

☆消防団でどんなお仕事をしていますか？

全員 夜回りや、地域のイベントなどで、防災の啓発などを行っています。

☆本来のお仕事をお持ちですが、消防団員として心がけていることは？

全員 できるだけ参加して、いろいろなことに挑戦し、サポートできればと思っています。

☆消防団に入って良かったと思うことは？

鈴木 消防団に入ってから活発になったことです。

寺田 いろいろな人との交流が増えたことです。

岡田 地域の方々と知り合いになれたこと、友達ができたことです。

☆何かご苦労はありますか？ やりがいは？

鈴木 苦労は特にありません。これからの女性が飛躍できる場であると思い、やりがいを感じています。

寺田 市民の方に消防団を理解していただくために苦労しています。

岡田 女性消防団の制服ができたのですが、制服を着るとうれしく、身が引き締まります。朝早いイベントでも頑張っています。

☆活動をする上で支えになっていることは？

鈴木 人の役に立ち、ふだんできない体験ができることです。

寺田 市民の方たちに、もっと防災意識を高めてもらえるよう活動したいと思います。

岡田 今まで知らなかった別世界に触れることができることです。

☆男性の仕事と思われていますか？

鈴木 男性との違いは特にないと感じています。でも、女性にしかなないことができるようになって、お互いのいい所を高めあっていけばいいと思います。

寺田 力仕事などはかないませんが、他の仕事は女性としてもできるとしています。

岡田 女性でもできる仕事がありますし、女性の視点を持つことも大切だと思います。

☆後輩へのエールを

鈴木 自分のペースで自分のできることを頑張ってほしいですね。

寺田 無理をして続かなくなってしまうより、自分のペースで長く団員でいてくれるよう頑張ってください。

岡田 地域との接点を持つ、多くの出会いがあるので、ぜひ参加してください。



編集後記

この頃、子育て真っ最中のパパ・ママや、子どもと一緒に生き生きとグループ活動をしているママたちとよく出会います。そして、市民活動で男女共同参画を実践している男性たちに拍手！男女共同参画プラン（第2次）が、我孫子市の事業に生かされるよう願っています。（Y.H）